

令和3年度愛媛産業安全衛生大会（Web開催）に寄せて

愛媛労働災害防止団体協議会
会長 田坂 幸夫

令和3年度の愛媛産業安全衛生大会は、当初、10月5日に松山市総合コミュニティセンターでの開催を予定しておりましたが、急激な新型コロナ感染拡大により先行きが見通せず、感染リスク回避のため、やむなく会場での開催を断念いたしました。

しかし、現下の愛媛県内の労働災害を巡る現状から、安全衛生管理に関する情報発信や、労働災害撲滅への機運を醸成する機会の提供は極めて重要であると考え、会場での開催に代えて、当協議会の構成団体のホームページ上に「特設コーナー」を設けて、会場での大会に準じた情報を提供する「Web大会」といたしました。

ご多忙の中、関係する資料や情報をご提供いただいた皆様、応援のメッセージをお寄せくださった皆様には、厚く御礼申し上げます。

また、優良賞、功績賞を受賞された皆様には、日頃の熱心な取組に敬意を表し、心からお慶び申し上げますとともに、今後益々のご活躍を祈念申し上げます。

今大会は、昭和27年以来、中止となった昨年度大会も含め、通算で83回目となり、「つなげよう未来へ 続けよう安全衛生活動」をスローガンにしたWeb開催です。

この間、労働災害は、皆様方のたゆまぬ努力により長期的には減少しておりますが、このところ減少が鈍り、時に増加する場合も見受けられます。

令和3年は、愛媛第13次労働災害防止5か年計画の4年目に当たりますが、県内の令和2年の休業4日以上労働災害は1,552件で前年を62件、4.2%上回り、死亡者も11名でした。直近の8月末現在では965件（死亡者6名）と、昨年同期の832件（死亡者8名）を133件、16.0%と大きく上回り、また、健康問題につきましても、定期健康診断結果における有所見率は年々高まって6割に達する勢いとなっており、同5か年計画での減少、改善目標の達成が大いに危ぶまれております。

私たちが含め関係者一同は、このような労働災害や健康を取り巻く状況を真摯に受け止め、より安心でき、より安全に、より健康で、より快適に働ける職場環境を実現するため、従来の活動をより一層深化・進化させ、力強く推進する必要があります。

このWeb大会が、安全で安心して健康に働ける職場づくりへの認識を深めて、労働災害の防止と働く人の健康の確保・増進に向けた自主的な安全衛生管理活動が的確かつ着実に実施され、各企業における衛生管理水準がより一層高まるための契機となれば幸いです。